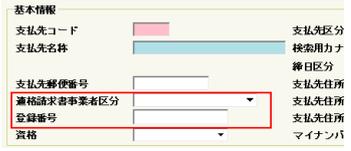


●バージョンアップを実行する前に以下をご確認ください。
現在のPS7会計システムのバージョンが「7.31.2022.0916」以上であること

●バージョンアップ後は、「7.31.2023.0306」となっていることをご確認ください。

Ver.7.31.2023.0220

分類	No.	機能名	内容
会計	1	支払先登録(会計)	<p>インボイス対応として以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適格請求書事業者区分 (0:未登録, 1:発行事業者, 2:対象外事業者) ・ 登録番号 (「T」+数字13桁の番号) <p>※適格請求書事業者区分について バージョンアップ後は、すべてのデータに0:未登録がセットされます。</p> <p>※教職員など立替払として使用する支払先は、 0:未登録を選択してください (初期値のままでもOKです)</p> 
	2	支払先マスタリスト	<p>インボイス対応として、印刷条件項目および帳票出力項目に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適格請求書事業者区分 ・ 登録番号
	3	支払先ガイダンス	<p>インボイス対応として以下の項目を追加しました。一番右に追加されていますので、スクロールしてご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適格請求書事業者区分 ・ 登録番号 <p>登録日で検索するとエラーが発生する問題に対応しました。</p>
	4	マスタ取込	<p>インボイス対応として、支払先マスタの取込項目に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適格請求書事業者区分 ・ 登録番号 <p>取込フォーマットについてはマニュアルをご参照ください。</p>
	5	マスタ抽出	<p>インボイス対応として、支払先マスタの抽出項目に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適格請求書事業者区分 ・ 登録番号 <p>各項目にカンマが含まれているケースに対応するため、マスタ抽出から出力されるCSVファイルの各項目をダブルクォーテーションで囲むように変更しました。</p>
	6	支払予定仕訳入力 資金収支仕訳入力 総勘定仕訳入力	<p>付箋機能を使用して仕訳登録すると「無効な値が入力されました。」というエラーが発生する問題に対応しました。</p> <p>補助金区分と消費税はEnterキーで進めたとき項目がスキップされていましたが、パラメータ設定で停止することも可能になりました。 ご希望の場合、「パラメータ設定(会計)」から以下設定を変更ください。 メニュー： <マスタ登録>→<法人情報>→<パラメータ設定(会計)></p> <p>画面上部のオプションで「会計」を選択 以下のパラメータを「Y:有効」にすることでEnterキーで停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕訳入力-補助金コード移動 ・ 仕訳入力-消費税コード移動
	7	定型仕訳グループ登録	<p>定型仕訳グループ登録のメニューを追加しました。定型仕訳グループは今まで削除できませんでしたが、この画面から登録・修正・削除が可能です。 マスタ登録→定型・摘要→定型仕訳グループ登録で呼び出せます。</p>
	8	科目ガイダンス	<p>科目ガイダンスに略称を追加しました。</p> <p>大科目と同じように中科目を表示するようにしました。</p>

会計・固定資産システム変更内容

分類	No.	機能名	内容
会計	9	元帳	補助活動明細元帳以外は、元帳の残高表示を科目マスタの貸借残を基準に集計するように統一しました。 資金収支元帳印刷を明細レベルで印刷した場合に、補助活動科目の場合は科目明細マスタの貸借残を基準に集計されていました。
			出力順を追加しました。 出力順：科目／明細→部門順（改頁無） 表示形式：部門別改頁で帳票選択でエディット帳票を選択したときのみ指定できます。
	10	人件費残高推移表	人件費残高推移表をA3で出力した場合4月～3月が1枚に納まるように調整しました。
	11	支払予定表	支払パターンごとに改ページする場合に、各ページのヘッダに支払パターン名を表示するよう変更しました。
	12	支払先別推移表	未払計上した場合に未払計上月で集計するか、支払月で計上するか切替ができるように条件に「集計方法」を追加しました。 資金科目を選択すれば支払月に集計されます。 経費科目を選択すれば未払計上月に集計されます。
	13	資金収支書込み未処理一覧	仮伝票がある場合に一覧表示するようにしました。
	14	目的予算元帳	CSV出力の再、「合計行を含めますか？」のメッセージを出し、帳票にあわせて合計出力できるようにしました。
	15	部門集計パターン登録	決算予算様式設定で内訳表の「4階層出力=する」を選択した場合、すべての階層の表示名称を画面から編集できるように変更しました。
			優先フラグに「消費税」を追加しました。 この優先フラグを指定した部門集計パターンが、消費税処理の初期値となります。 ※設定は必須ではありません。設定しない場合は、従来通り優先フラグ「総勘定」となります。
	16	決算書印刷（貸借対照内訳表）	帳票の名称を見直して、一般的な「貸借対照表内訳表」に改めました。
	17	決算書印刷（固定資産明細表）	脚注の表示領域を広くし、1ページに納まる行数を増加しました。
	18	月次決算チェックリスト（会計）	補助活動明細高チェックを科目マスタの貸借残を基準に判定するよう修正しました。 以前は科目明細の貸借残で判定されていました。
			繰越部門設定に不備がある場合のチェックを追加しました。 「繰越設定のない部門に期首残高が作成されます」のエラーが表示されます。
	19	ヘルプメニュー 法人情報登録	ヘルプメニューへ「ユーザーサイトへ移動」を追加しました。 法人情報登録で、TOMASユーザーサイトのユーザーIDとパスワードを登録することで、ID/パスワードの入力の手間を省けます。 ※TOMASクラウドについては、この機能はご利用できません。

会計・固定資産システム変更内容

分類	No.	機能名	内容
固定資産・基本金	1	当期償却額計算	耐用年数が1年の場合に月割償却が正しく計算されない問題に対応しました。
	2	除却入力	一部除却の場合に、除却簿価や当期償却額が正しく自動計算されない問題に対応しました。
	3	固定資産分割入力	固定資産分割で分割前の簿価と分割後の簿価に誤差が出るケースがございました。このような場合、エラーチェックを行いメッセージでお知らせするよう修正しました。
			リース契約と紐づけされた資産を分割した場合に、「リース支払予定情報登録」と「第1号未組入額情報」との連携ができなくなる問題を修正しました。
	4	備品ラベル	枝番の範囲指定で途中の番号を指定した場合に、枝番の桁が一部表示されない問題に対応しました。
	5	基本金組入額総括表 第1号基本金増減総括表 基本金明細表 月次決算チェックリスト(固基)	左記の機能について、基本金残高更新の案内メッセージを画面に追加しました。
	6	基本金明細表	2号基本金および3号基本金の「当期組入高」の見出し行に対して、「要組入高」と「未組入高」の列に本来不要な「横線」が表示される問題に対応しました。
	7	月次決算チェックリスト(固基)	建設仮勘定科目の付替のチェックを追加しました。
	8	リース支払予定情報登録	基本金未組入を「会計管理」している場合に、「リース支払予定情報登録」から「第1号未組入額入力」へ連携すると、未組入額が二重計上される問題を修正しました。 ※基本金未組入が「台帳毎管理」の場合は問題ありませんでした
9	第1号未組入一覧表	「当期増加」列を「当期増減」に変更し、減少額についても集計するように変更しました。	

※PS7会計・固定資産のマニュアルを最新化しております。

ユーザーサイトの【マニュアル資料ダウンロード】からご確認ください。

Ver.7.31.2023.0227 (2023年2月28日 追加事項)

分類	No.	機能名	内容
会計	1	支払先別推移表 支払先別未払金残高表 支払区別集計表	「支払先登録」のEDI情報に8文字以上の登録がある場合に、帳票印刷時に必ず「対象データなし」になる問題に対応しました。
	2	マスタ取込(支払先・目的・摘要)	目的予算マスタの取込で不正なエラーが検出されてしまう問題に対応しました。 マニュアルの取込フォーマットの説明通り、部門コードについては、「目的予算金額で部門を指定する場合は0(ゼロ)を指定する」ことが正しいですがエラーと判定されていました。 (Ver. 7.31.2023.0220の問題) ※TOMASクラウドは問題ございません
固定資産	1	固定資産振替入力	振替/移管元情報に表示される情報のうち、管理区分名称に誤った名称が表示される問題を修正しました。 同じ管理コードの資産に対し、管理区分の移管を複数回行った場合にコードと異なる名称が表示されることがありました。

会計・固定資産システム変更内容

Ver.7.31.2023.0306 (2023年3月6日 追加事項)

分類	No.	機能名	内容
会計	1	月次決算チェックリスト	Ver. 7.31.2023.0220の項番18で追加したチェックで、繰越設定に不備があり共通部門に残高が残る場合などにエラーが検出されるようになりました。しかし、本来無視できる金額=0の残高についてもエラーが検出されることがありましたので、修正しました。
	2	予算書 (決算書・資金収支月報・試算表)	1.に関して繰越設定に不足の部門がある場合に、翌年度の帳票印刷時にエラーが発生する不具合を修正しました。
固定資産	1	第1号未組入入力	Ver. 7.31.2023.0220以降で、第1号未組入入力未組入の「当期増加」が入力できない不具合を修正しました。基本金未組入を台帳毎管理する設定の場合は問題ございません。